

講習の理想境

三 浦 ひ ろ

夏が来ると

點も甚だ多いのであります。

講習とは何……補習教育者か

花が散つて緑深い夏が来るとそろ／＼講習がはじまります。短いのは土曜、日曜を利用して、少し長いのは農繁期の休業を利用して授業に熱心なそして又研究心の強い有爲な先生方の爲に、其の研究の刺激や好機を與へたいといふ好意から各種の講習會が開かれるのであります。やがて夏休み時になるとづつと其の數が増しかつ範圍も廣くなつて參ります。殆ど各府縣到る處で重大な年中行事の一つとしてゐるやうであります。従つて之によつて我々教育界に席を置くものゝ裨益せられる

それならばこの講習とは一體何であるかと申しますと私はこれを極簡單に短期間に於ける補習教育である^〇と考へて居ります。そしてこの教育であるといふ點に於いて講習を神聖な仕事である^〇と考へたいのであります。たとへ期間は二日であつても又は三日であつても教育といふ仕事に變りはありません。

ですから講習は世の教育といふ仕事の含む要素をすべて包含した仕事である^〇と見て差支へないと

思ひます。そこで今これに次の三つの方面に於いての重大任務を負はせて見たいと思ひます。

- 1、新知識技能の補充開發
- 2、停滯せる氣分の振起
- 3、人格の接觸

○ 補充教育であるとする以上その主要な任務の一つは新しい知識又は新しい技術の補充或は開發でなければならぬのであります。社會の進歩は一日一時の停滯も許さないもので常にその進行を續けて居ります。そして若しもうつかりして居ると何時の間にか其の歩みの外に置き去られてしまふ様な事があります。そして知らず識らずの中に退歩しはじめます。ですから時々これに清涼劑を與へて十分の緊弱味を以つて進んで行かなければならないのであります。よく不斷の努力でといふ事を申しますがこれには何かの刺激がないと實行が

なか／＼困難なものであります。この刺激の一つが新知識を與へられる事であります。この新しい知識といふものは世の中の歩みの最も生氣ある部分にかもし出される産物でありますから、それに接する事によつて社會の進歩のどの點に自らが位置するかといふやうな事を自覺する事が出來て其の生活の上に新しいそして強い刺激を受け深い反省を加へてゆく事が出來るのであります。勿論講習で受ける新知識が我々の生活の向上をたすげ退歩を防ぐものゝすべてだとは申しませんが、これに端緒を得て生活を進めてゆく事の稀でないのは事實であります。ひとり之は知識に於いてのみならず技術に於いても同様の事がいはれるのであります。自己より遙かに優れた技術に接した場合前と同様に自分の生活に對する希望と要求とを高めてゆく事が出來るのであります。

○

また我々が日々の生活に於いて無刺激平坦な時を過して居りますと其の知識技術に於いて退歩する許りでなく心狀に於いても活潑な活動を阻まれる爲沈滞した氣分を醸し出して澱んだ水のやうに激測たる力を失ふものであります。そしてこの流れの中止した心の状態が更に其の知的方面に又は道徳的方面にも影響をして參りますから知らず識らずの中に心身ともに動かぬ人になつてしまふ事になります。之等はやはり相當の刺激によつて救ひ得るものであらうと考へます。各方面の人々の集合により自己以外の多數に接し、又社會を流れてゐる生氣ある學徳に又は技能によつて形成せられた講習の雰圍氣にひたる事によつてかうした心的状態は振興されるのであります。我々が其の學生生活を送り又は研究生活をつゞけて參ります中はこの生活の沈滞といふ事は避けられるのであります。一人刺激の少い地方に住み又は全く少數の

人々の間に交つて穩かな生活を營む時には自らの力を正しい測定に置き得ない場合が生じて參ります。そして停滯から退歩へと逆行するのであります。講習はたしかにかうした事件に對しての一抹の刺激劑又は興奮劑となるものであります。

○

人格の接觸といふ事は何れの教育に於いても重大な責務を分掌するものと考へられて居ります。これを全然抜きに致しましては教育の仕事は成立しないと極言してもいゝかと思ひます。實に偉大な人物との接觸はたとへ夫れが一時であつたとしても吾々の心底深く感動を與へて絶大な影響を残すものであります。我々は皆異つた個性を有して居ります、そして其の一言一句、一舉一動すべて其の個性が表れるのでありまして、どんなに抑制するつもりでゐても抑制し切れないものであります。ことに我々が専心熱意を以つて事に當つた場

合には特に自分をよく表します。故にこの人格の接觸といふ事は善惡にかゝはらず行はれるものでありまして教育上には重大視せらるべき一要素であります。

講習の効果

細大もらさず記す事にすれば随分多くの効果を擧げる事が出来やうと思ひますが、こゝには極かいつまんで考へてみたいと思ひます。まづ前述の講習の任務から考へてみますとその効果の一に擧げるべきものは

知識慾の勃起

であります。人は其の幼兒時代に既に萌した所の知識慾は多少強弱の差があり、また變化が生ずる事はあつても一生を通じて死に至る迄存続するものでありますから、何歳になつても知り度といふ望みの失せる事は常體に於いてはない筈であり

ます。かうした願ひが人々の間から失はれない限り世の進歩は中止する事なく次第に向上發展に向つてゆくのであります。しかしこの知識慾にも單に好奇的なものもあり研究的なものもあります。そしてその何れが人間の福祉を増進するものであるかはたれでもわかつてゐる事で説明する迄もありません。この深重な研究的要求をもつた知識慾はやはり相當の刺激がないと減少して參ります。よく學校卒業後時を経たので知識慾が減じたなどいふのを聞きますが、それには他に種々の原因もあらうかと思ひますが大きい原因の一つは刺激の少い生活に入つた爲であります。講習はたしかにさういふ境遇に入つた人々に知識技能の新方面を紹介して強い刺激を與へ勃々たる知識慾を喚起するものであります。これは眞面目に講習をうけたものの等しく體驗してゐるところのもので、或講習によつて非常に感奮させられて其の研學の方面

に光を認められた人もありませう。奮起して研究の生活に入つた人もありませうし教授の方法に一轉換機を與へられたものもありませう。又それほど顯著な効果がなかつたのにしても、ぐづぐづしては居られぬ、とか勉強しやうといかいふ心を起した人は随分あると思ひます。其の二として與げるべき効果は

知識技能に對する要求の向上

であります。即ち従來は或程度迄の要求しかなかつたものも知識慾の旺盛になつた結果として非常に目標が向上されて參ります。そして技術的方面には更に觀察批評の力が向上して參りますから自分の環境が擴大されたやうな喜びを感じます。眼界が急に豊かになつて參ります。第三は

心氣の轉換

であります。廣く人々に接し、新しい知識を與へられる事によつて生活の目標が向上しますから今

迄停滞してゐる氣分が流路を見出して快よく活動を開始いたします。第四には

自己反省の好機を與へられる

事であります。これはすべて自己以上の力に接した場合に必ず伴ふ筈の作用でありまして純な心状にあるもの程この作用は正確にはたらさますが特に眞の教育はこの作用に預つて力あるものであります。そして我々はこの眞摯な自己反省の力によつて生活の根底を樹立し且つ向上せしめてゆくのであります。

更に副次的産物として教授材料の蒐集といふ事が出來ます。窮迫した教授法に時に活路を見出し又缺乏を告げた教授材料に幾つかの新材料を與へる事があります。しかし一言して置きますがこれは副次的に起つて來るもので講習の眼目がこれであつてはならないのであります。

講習の理想

さきに述べました様に講習は新しい知識技能を補充教授し、停滞せる氣分に活路を與へ人格の接觸によつて各自を磨く所のものであります。これを除いては講習の眞價はないのであります。我々が所定の講習を終へ、靜かに其の收獲を考へた時そこに新學說の一二の斷片があり、又は巧妙な技術の二三の部分が残つてゐるとしても夫れは何の誇りにもならないのであります。眞の講習の收獲は其の與へられた材料によつて自分がこれだけの反省を促され又、これだけ向上の進路に向ひ得たといふ體驗がなければならぬもので、さういふ體驗がなかつたとすれば形骸だけを擱んで眞にふれなかつたものと言はざるを得ません。思ひを内に向けて自己を省みる材料となり自分の魂に觸れた時講習は眞に生きて我々のものとなるのであります。

す。

かういふ意味に於いて私は講習の理想境について空想して見度いと思ひます。

まづ其の前に『講習の理想境は講師と講習生の協力によつてのみ樹立し得るものである』といふ假定をいたしませう。これは假定として置きますが實は私の信念であります。

ですから説明の順序として講師側と講習生側とに分けて考へませう。

講師として先づ考へなければならぬのは教育といふ仕事の一部を遂行してゐるのであるといふ意識を明瞭にして置かなければならない事であります。自分は學者であつて教育家ではないと思ふ講師もあるかも知れませんが相手は相當に素要のあるものなのですから單なる學說であつたとしても相手はこれを自己教育の一部に織り込んで參りますので立派に教育としての作用を行ふ事になる

のであります。故に講義と實演とを問はず一意専心熱意を以つて當らなければなりません。しかし一日といへども或は半日といへども講師の人格は必ず對者に反映するものでありますから眞に衷心からの叫びを以つて接して行かなければならないのです。言は衷心より行は誠意より出たものであつたとしたら如何に講義の術に於いて拙であつても教授法が下手でも必ずや人の肺腑を衝くものがありませう。従つて講習生も又誠意を以つて之を受ける筈であります。決して決して賣名的の目的や金儲けの爲に講師になつてはならないと考へます。講習生や賣名や金儲けの手段にするのは餘りに勿體ない事であります。

次には一時的のものであるといふ考を起してはならない事であります。僅か三日や四日のものでありましてもいやしくも自己の心身を吐露しての一時であるならば又永遠の一部である筈でありま

す。少くとも其の場限りのものでなく自分の一生責任をもつ覺悟がなければならぬでせう。何三時間だからとか一日だからなどいふやうな浮薄な考へは持つてない筈です、自分の一部だと考へた時強い責任と嚴肅な感が湧いて參ります。

十分な確信と準備を持たなければならぬものもかういふ意味からいつて忘れてはならぬ事でありませう。

最後に考へなければならぬのは徹底した講習でなければならぬといふ事です。相手に誠意を持ち自分に責任を感じ周到な準備と確信を持つてした場合に不徹底に終る筈のないものではあります。最後として再びよく徹底してゐなければならぬといふ事を確めて置きたいと思ひます。

更に講習生側からいつてみるとこれも亦誠意を以つて應じなければならぬのであります。時には自分の百も承知の事を教へられる事もありませ

う。しかし夫れ故に不遜であつてよいものでせう

か。何はともあれ講習とは、常に教へる立場に立つて教へられる身を忘れ勝な我々に與へられた一つのよりよい修養時期なのでありますからその意味からいつた丈けでも出来る丈けの誠意を以つてこの境涯を味はねばならないものでせう。この誠意とは講師に對しての誠意ではありません自らに對しての誠意です。

次に考へたいのは高尚な目標と要求を持つて參加しなければならぬといふ事です。もしも講習生中に新しい教育説をときて歸つて皆を驚かしてやりたいとか新しい事をならつて兒童にさせて世人の賞讃を得たいとか考へてゐるものがあるとしたら誠に卑むべきであると思ひます。多少でも衰へかけた知識や技術を補足しよどみかけた精神を復興して新しい生氣を以つて來るべき日を教へようとする希望と要求を以つて臨まなければならぬ

いのであります。

講習について新しいものを探して來ようかなどと考へて來たら本當に失望もしなければならず不平も言はなければならぬやうになります。講師側に教へようとする準備と確信のあるやうに、講習生側にも習はうとする準備と熱がなければならぬものではありますまいか。

以上述べたやうな點が講師、講習生の両面に完全に行はれたとしたら一年中の勞苦も憂慮も此の期に於いて洗ひ流されたやうな爽快さを味ひ、若い學生時代のその感激と熱とを呼戻したやうな生々とした環境に身を委ねる事が出来るのでありまして炎暑の頃の講習も、みどりの木蔭の晨に似た思ひに變るものではないでせうか。そして袖すり合つたのさへ縁と思ひなされる程の人なつかしい我々の氣持は更になごんで講師講習生の一團となつた和合の雰圍氣に其の研究と反省とを積んでゆく

事が出来るのだと信じます。

講習の現状

考へると淋しくなる

私は今迄理想の講習會について夢みて來ました
が一度眼を現状に向けて見度いと思ひます。そこ
には呪ふべき講習弊が満ちてはゐますまいか。か
う考へるのは一體私だけでせうか。

私はこの二三年の間に講習が賣物に出たのを幾
度も聞きました。はじめは餘りの可笑しさに嘘だ
と思ひました。しかし賣物に出した講師の名さへ
いはれて見ればさうく何時迄も否定して居るわ
けにも行かなくなりました。もし之が事實だとす
れば由々しき大事だといはなければなりません。
講師の賣名の爲か、或は金儲けの爲かよく解釋し
て主義宣傳の爲か、とにかく一講習何程として定
價を附して廣告するといふに至つては本當に恥し

い思ひが致します。こんな風にしては講師の權威
も失はれてしまふ事になります。

しかし現在では經濟的利益を目的にして講習を
計劃する人達は可なり澤山ありますが、これは講
習の内容に直接關係のない主催者側の事でありま
すから内容がよければまあいゝとして講習に直接
關係ある講師が講習を押賣する事は本當に講習の
神聖を冒瀆するものでありますから、絶対に避け
なければならぬのであります。しかし何がかうし
た講習の賣物を出させたかを考へると、そこには
講習生の側にも負ふべき責任の一端を見出さなけ
ればならないのであります。これは世間一般の講
習生が餘りに新しいものを求める事のみならずと
して、確實な定見のない事、又は材料蒐集の弊に
陥つて何でも目新しいものを集めようとする其の
弱點につけ入られたものなのであります。

この材料の新しいものを内容の如何を研究する

事なしに逐ふといふ傾向は世の教育者達が世評に動かされやすく教師としての信念の餘りに薄弱である事を表すものであります。

つまり教育の對者を兒童に置くべきを誤つて世人の批評に置いた點より生じた悲しむべき現象であります。

體育に關する講習

この講習の一般的弊はすべての場合に見られるのであります。殊に甚しいのは、體育に關するものに於いてであります。これは體育は一つの技術實科である爲だと思ひます。それと發達がまだ新しい階梯にある爲に特にさういふ弊が見られるのであらうと思ひます。

思想的のものですとさう全部表面にあらはれて參りませんが、競技だとかダンスだとか體操だとかいふものはすべて技術を主とする學科である爲

に成績が直ちに表面にあらはれて參ります。で世人の眼には容易に皮相的の批評は出来るので、もし教師が定見を持たない場合には、この皮相的の批評にたやすく動されるやうになつて其の結果として新しいものゝ珍らしいものを求めて歩まなければならなくなつて參ります。

そして何時の間にか講習が恰も之等の人々の材料仕入所のやうなものになつてしまふのであります。試みに講習生の要求を尋ねてみるならば殆ど三分の二迄は今年の運動會に何にいゝ材料を集めたいとか、學藝會にする材料を教へてほしいとか申します、私の生活を本當によくのびた體に仕上げるのに適當な材料を知り度いなどと考へてゐられる方は一體何人ある事ぞせう。私はかうした實狀を見る度に講習の前途に一抹の暗影を示されたやうな物寂しきを感じます。

しかしかう申しまして體育講習會が弊害のみ

を持つたものだといふのではありません。かへつては日本の體育が今日の盛況を見るに至つたのは偏に講習の賜であつたとさへ言へるので、其の効果の實に偉大であつたのを認める事ができます。

そして今後と雖もこの講習はたしかに體育界のリーダーとなつてゆく重任を持つものと考へられるのであります。故に此の際に於いて間違ひのない理想を打ち立て、從來の弊害を捨て眞の教育への指針であるやうな實質をこれに盛り込んでゆき度いものだと思ひます。

この爲には主催側へ或は講師への注文や要求も勿論ありませうが、まづ先決問題は我々講習を受けるものゝ眞の覺醒といふ事でありませう。こつちで本當の目的を確立し、更に研究的態度を以つて講習に臨むやうになれば自然に講習の選擇といふやうな事も行はれて來ますので、ふら／＼とよい加減なものに誘ひ込まれるやうな事はなくなりませ

す。さうなれば自然によい加減な講習は消失して充實したものゝみとなつて來るにちがひありません。

講習の選擇

講習を自分のものとするのに自覺のある講習の受け方をする爲には其の目的をよく考へて見なくてはなりません。そして目的が定つた上は數多い講習中からその目的によく合つたものを選ぶことにした方がよいのです。自分の要求にびつたりとしないものだ、どんな良い講習も案外につまらなく終る事があります。勿論この選擇の場合には其の内容等も知り得る範圍だけは知らなければなりません。何をするのかも知らずに來た、などいふ事は自分に對して餘りに無責任な恥しい事であると思ひます。慎重な選擇を経てやがてそれの終つた時に立派な獲物のあるやうにしたいものだ

と思ひます。

講習の整理

如何な事でも整理といふ事が必要であります。首尾完結させる爲には整理はなくてはならぬ仕事です。講習等に於いては特にこの終了後の整理といふ事が大切なのです。これによつて講習が永遠に生きるか又は一時的のものとしてやがて消滅するか別れる時もあります。

講習を受け放して其のまゝにして置いたのでは本當に自分自身のものとして使ひ得ないものです。若しそれを我もの顔に使はうとする時は妙に不自然なものが表れて参ります。本人には一向気づかなくとも第三者から静かに觀察すれば實に不調和な場合があります。如何なる名言も高説も之を吸収し消化して後にはじめて其の人のものとしての眞價が出るのでうけ賣りには生氣がありません。

ん。生氣のないものには人の心をうつやうな貴さがありません。私の意味してゐる講習の整理とは即ちこの吸収したものをよく消化し切る迄練る事でありませう。一例をダンスにとつて見るならば世界的ダンスとして一流のアンナ・バプロヴァでさへ五十餘歳の今日なほその技の爲に毎朝少くとも二時間の猛練習を續けてゐるといふ事です。我々が三日や四日の講習で習つた六つも七つもあるものを單に順序を知つてゐるといふ事だけで人に教へるなどといふ大膽は考へれば到底出來得ない事です。

これは獨ダンスのみではなくて、すべての講習に必要な事ですから想をまとめなければならぬのはまとめ、練習を必要とするものは心の満足がゆく迄練習しなければなりません。そして短日月の講習を最も意義あるものとして終るやうにしたいものです。(三八頁へつゞく)

調べるために、鑑賞といふ態度で讀むのに不適當なものだからとも思はれる。

お話の呼び聲高く、世間では先づ流行してゐるやうでもあり、又それがやうやく重視され、研究される機運に向ひながら、なほ好いお話面白いお話、昔からある名高いお話が調べられずに、此の頃出來の好い加減にデツチ上げられたものや、好いお話の歪められたものが其のまま行はれてゐるのは、やはり此の好いお話、面白いお話、昔からある名高いお話が調べられない事に原因してゐると思ふ。

繪畫や音樂といふものは習はなければ、學ばなければ出來ないものである。詩や劇や童話といふものも同様に學ぶべきものであり、習つて出來るものであると思ふが、童話や兒童劇やお話の事になると、繪畫や音樂の半分も學ばれてはゐない。勿論それを學ぶことの便宜が乏しいことも其

の原因ではあらうが、いつまで此の状態が續くのであらうか。分り切つたやうな事で、思へば不思議な話である。

（三四頁より）

○

講習の利用といふ事が近來益々盛になつた事は誠に喜ばしい現象であると思ひます。之によつて我々の利益せられる點も亦非常なものであります。が、一朝その利用をあやまるとかへつて弊を醸し出す事になります。故に此の際出來るだけの努力と眞面目な精神を以つてこの講習の善用につとめ講習の理想境を作つてこれを所謂我々等の講習とし、從來の弊を一掃したいものであります。